

【めむろ未来ミーティング日程13】

令和7年1月14日（火）

15:00～16:10

■参加者 5人

■芽室町 町長、副町長、教育長
農林課長、環境土木課長、環境土木課参事、
魅力創造課参事、政策推進課長

■記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

- ①街路樹を切ってほしい（環境土木課）
- ②なぜ渋山で開催しないのか（政策推進課）
- ③役場駐車場の入口から出る車がある（総務課）
- ④車道でウォーキングやランニングをする人に注意してほしい（環境土木課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 ゼロカーボン
資料2 新嵐山スカイパークランドデザイン
- 4 意見交換

【参加者】

道道の新嵐山の駐車場を過ぎたあたりにカーブがある。整備をするときに、道路を広くするのは難しいと思うが、見通しを良くしていただけるとありがたい。小麦のコンバインが通るとき、対向車が来ると厳しい。

【町長】

道道なので、整備の計画があるのかどうかも町は分からない。いずれにしても見通しが悪いことが事実だとすれば、危険なのはいけないので、北海道につなぎたい。

【参加者】

資料の⑨あたりも雑木なのか、整備のときに考えてほしい。

【町長】

民地だが、町としてお願いすることはできる。タイミングとしては整備のタイミングでできたらいいと思う。

【環境土木課長】

北海道に新嵐山の整備が進むにつれて理由をもって依頼をする。

【農林課長】

未来ミーティングのなかでも、新嵐山の周辺の倒木や景観についてお話をいただいている。今年度、一度きれいにはしたが、木の下が全てきれいに刈られて見通しが良いという状況にはなかなかならない。ただ、新嵐山の整備もあるので、農林課も連携していく。

【町長】

美生地域からも話が出ている。タイミング的には、今要望していくのが一番良いと思う。

【参加者】

新嵐山のビジターセンターを作ると書いてあるが、内容は検討されているのか。

【町長】

基本的にビジターセンターは、日高山脈が国立公園化になって、登山者の入り口という考え。モンベルの会長も芽室町に何回か来られていて、話をさせていただいているなかで、当初は新嵐山にビジターセンターがあるのいいと思っていたが、日高山脈の入り口が清水町と中札内村、それと楽古岳の方からと大きく3つで、確かに景観は新嵐山の展望台に行くといいし、近く見えるが、あそこから日高山脈に入っていくのは難しい。なので、高速道路と国道から近い芽室公園にビジターセンターがあって、ガイドが常駐していて、清水町を通じて山に入っていくイメージ。そこにモンベルショップもあれば、登山の用品や足りない物があれば買

える。そういうこともセットにして、入り口に持っていけないかという発想。ただ、それとは別にアウトドアを生かしたアウトドア教室や健康のためのイベントをするならば、新嵐山をフィールドにしてモンベルに事業として入ってもらって感覚でいる。あくまで構想なので、これからまた詰めていきたいと思っている。

【参加者】

ビジターセンターといった場合、知床のようにいろいろな観光名所があって、しかも車を降りてすぐに行けるようなところが道路沿いであれば、ファミリーで行って子どもを連れて見て歩くのに有効。ただ、日高山脈に登る人にとって、ビジターセンターで質問する人がどれだけいるか。そう簡単に登れない。小さい子どもを連れて家族で行けるような山ではない。そういう人たちが対象でないとすると、日高の山を目指してくるのは登山をしている人たち。そうすると、ビジターセンターで案内を求める人はいないと思う。そういう意味ではあまり役に立たないのではないかと。

【町長】

例えば、大雪山国立公園だと然別湖なども入っているため、家族で来て観光で山登りができる。確かに日高山脈はプロでないと登れない。そういう意味では、ビジターセンターの必要性については、おっしゃるとおりの部分もあると思う。ただ、先ほど言ったように、ファミリー層が気楽に山や自然に触れ合えるというところでは、新嵐山をフィールドにしていきたい考え。そこにビジターセンターがなければならぬということではないと思っている。オーバーツーリズムで登山者が増えているのは事実のようだが、日高山脈についてはそういう山ではない。そのあたりは他の国立公園とは違うという認識を持っている。

【参加者】

8年前の豪雨で林道を寸断されて、芽室岳と十勝幌尻岳は行けると思うが、伏美岳は全然話にならないような状況。その整備もしないといけない。日高幌尻岳は今どうか分からないが、昔は夏の土日になると小屋に人が入りきらなくらいだった。なぜかという、

日本100名山に入っているから。100名山ハンターというものの好きもたくさんいる。それで随分と混んだ。今でもあると思う。こちらは100名山に入っていないし、そんなに人は行かない。一般の人にはほとんど会わない。国立公園になったからといって、こちらの山に人がものすごく集まることはないと思う。

【町長】

国立公園化になって、環境省ともいろいろ話をさせてもらっているが、国の予算で平成28年の台風災害の整備もしてほしいと言っている。上に行けないから迂回しなければならない状況であることは知っている。そういう意味で、国に対して整備を先にしてほしいという話をしていて、今後も強く言っていきたいと思っている。景観や食を生かして、外側から見るような観光の仕方があるべき姿であると思っている。ガイド育成や旅行会社とタッグを組んでツアー化もしているが、それは第一歩だと思っている。登山道も戻っていないことは理解している。

【参加者】

展望台だが、平野を見る方は開けているが、反対側の日高山脈の方を見ようとすると、木が邪魔していてあまり見えない。全部切るわけにはいかないと思うが、ある程度の範囲を切ると日高山脈の方も見られると思う。整備するのであれば、眺めのことも考えて山の方が見えるようにしてほしい。

【町長】

先に展望台を整備するべきではないかというご意見をいただいているのも事実。ただ、展望台の西側にある木が防風保安林という位置づけで、非常に条件が厳しい。剪定もできない類の林で、しかも相当下の方から生えていて、そこに機械を持って行って伐採すること自体もなかなか厳しいという実態。その中でも何か良い方法がないかを検討している。リフト側のおりたところに昔雑木があって、それは切っても大丈夫なので切った。そうすると上美生側は割とひらけた。そういうこともあるので、展望台の整備も含めて、いかに見えるようにするか、工夫していかなければならないと思っ

ている。

【参加者】

資料8 ページ②のキャンプエリアが畑に近い。苦情はこないか。農家の朝は、早いと3時4時には動き出す。小麦のシーズンは、夜中じゅう動いたりもする。

【町長】

今の話は初めてお聞きしたので、注意しなければならぬと思いつつも、今は構想の段階なので、場所もこれから検討していきたい。

【参加者】

令和32年度に温室効果ガス排出量実質ゼロとあるが、どういうことなのか。

【環境土木課参事】

炭素はどうしても出る。出る量を削減することはできるので削減しつつ、例えば再エネを使った電気を使うなどの取り組みと、森林による吸収で相殺して最終的にゼロにする等のやり方になる。例えば、2ページ一番下に17970tとあるが、削減取り組みが必要なCO2排出量が33269tで、ここから森林吸収量を差し引いた残りの分である。この分について削減できれば、実際に芽室町は48%の削減に向かっていけることになる。ここでは2030年としているが、2050年になったときに、さらに技術革新が取り組まれていくと、そこにも下がっていく要素が含まれていく。国も含めて最終的に目指していこうという考え。今の排出量は必ず残るが、吸収量を含めて最終的にゼロにしていくのが、ゼロカーボンという考え方。

【町長】

分りにくい部分もあると思うが、まず人が減るので、そういった意味では二酸化炭素は将来に向かって少しずつ下がっていくのではないかとこの発想。削減対策は産業部門がものすごく多いが、会社で出す分は出すが、カーボンクレジットと言って、その森林吸収量を買ってでも削減していこうという考え方がある。それ

らを積み重ねていって、48%減を目指すという考え方。産業だけ頑張ってもらうのではなく、公共も頑張るし、運輸部門、家庭部門、業務部門、産業部門で少しずつみんなで頑張って48%減に持っていきたい。

【参加者】

農業は炭素を排出する。助成金はもらえないのか。

【町長】

助成金のところまでは考えてない。

【参加者】

緑肥を作ったらお金をもらえるのか。

【環境土木課参事】

もらえないが、最終的にはそれらの吸収量も含めてカウントできてつながっていくと考えると、まさに今やっていたらいる対策も一つの効果であると考えている。

【参加者】

農家的には炭素が多い方が作物はとれる。

【町長】

エネルギーを再生可能エネルギーなどで、例えば糞尿を生かしたバイオガス発電などでも、燃料を焚くより削減になる。どちらかという、そういう取り組みを進めていく感じになる。産業をしていると、どうしても出る分には仕方がない。だけど、工夫をして、例えば電源を少しでも変えていくなどができないかということ。実際は芽室町の排出量でいくと、大きな企業がかなりの量を出しているという実態がある。だからといって他の部分は何もやらなくていいという話にはならない。それとご家庭に対しては、2ページの左にあるような支援もさせていただきながら取り組んでいきたい。ただ、いろいろな会場で言っているが、公共施設や役場が本格的に頑張って取り組んでいる姿勢は出したいと思っている。何でも町民の皆さんにお願いするだけではやる気にもならない。役場がトップランナーとなるイメージで、資料①②をやっていきたいという考えでいる。

【参加者】

新嵐山の民間活用ゾーンについて、特に⑩はオートキャンプ場と普通のキャンプ場が川沿いにある素晴らしい環境だと思う。あそこは元々の形で生かしてほしかった。自然のせせらぎの音を聞きながら寝られる環境は素晴らしい。民間活用になるのはもったいない。

【町長】

この機会なので緑と赤の違いを話すと、まず都市公園ゾーンと位置づけた部分だが、都市公園というのは芽室公園周辺が都市公園ということになっていて、公園の中にも都市的な機能を入れていこうという考え方をしている。なぜ今回頂上も含めて都市公園ゾーンに入れようと思ったかという、このゾーンについては町として将来もしっかり維持管理をして、観光拠点として位置づけていこうという思いがあり、都市公園にすると国の財源として交付金をいただける。今回のいろいろな整備にも有利なので、お金のことだけではないが、そういう2つの理由があって都市公園に位置づけていきたい。赤い方は、今後も含めて町として何かをする考えがないという整理をさせていただいた。この中で民間の方々から自然環境などを生かして考えてくださるのであれば、提案してもらおう仕組みになっている。6ページの下から2つ目、観光機能にある第3駐車場及び旧オートキャンプ場は、民間活用という整理をさせていただいて、令和8年度に公募をしたいと思っている。将来的には町として持ち続けるのではなくて、土地をお貸したりお売りしたりするような形にしたいと思っている。例えば、4ページ5ページにある宿泊機能や温浴施設は町としてやらないという整理にしたが、民間活用でできないかの可能性があるという位置づけている。ただ、民間活用といっても、例えばそこに太陽光発電所を作るようなことなどは考えていなくて、自然環境に合わせたあるいは観光の拠点として魅力が発信できるものであれば、所有者の町として土地を売ったり貸したりしたい。乱開発といったことはまず考えていない。

【参加者】

お金かけないで現状のままフェンスを作るだけで済

むようなドッグランなど、そういうものであれば、あそここの広さを生かしたら素晴らしいと思う。そういったことは考えられないのか。あと、パークゴルフ場が4面あったのが2面になってしまって、公式の大会ができないと聞いた。そうであれば、何か広さを生かした形に生かしてもらえないか。

【町長】

パークゴルフ場は賛否両論あって、パークゴルフ人口もだんだん少なくなっている中で、あえてこれから作るのかという意見もある。前は36ホールで公認コースであり、人を呼ぶためのアイテムであったが、先ほど言ったように人口が減っているので、今後に向けてどうなのかという考えもある。ただ、多世代の人たちが使うことを頭に入れたときに、パークゴルフ場というものもありではないかという発想を持っている。通年でファミリー層に来ていただきたいので、⑥の屋内遊戯施設や⑧のドッグラン、⑦の屋外遊戯施設などでファミリー層を取り込みたいという考え。

【参加者】

⑦の大型遊具はどのようなイメージか。

【町長】

南富良野町のモンベルの裏に大きい遊具があるのでそのようなイメージ。屋外の遊具施設は、エコロジーパークや忠類、足寄町などで人がたくさん来ているのを知っている。なぜ屋内がメインになったのかといえば、南幌町の「はれっば」という施設をモデルにしている。あそこは札幌近郊なので人口は多いが、オープン以来20万人ぐらいの来館者がある。芽室町も総合体育館にキッズスペースをつくって、月に4000人ぐらいの利用があるなかで、屋内で子どもたちを遊ばせられるところが意外とないのと、ニーズがあるというところで集客をしていきたい考え。「はれっば」では、町民が100円で、町外の方は300円で利用できる。同じように差をつけることで、町内の皆さんにも使っていただきたい。確かに少子化はあるが、子どもたちを遊ばせたいというニーズは、全然落ちていないと思っている。音更町でも、ハナックの近くに屋内遊戯施設をつくる

ようだが、場所も離れているし、問題ない感じはする。

加えて、町民の皆さんが今まで新嵐山のレストランを地域の食堂として使ったように、レストランのような機能もそこに置いて、年間をとおして来てほしい。そういう考え方で、⑥をセットにした。

【参加者】

中美生から新嵐山まで歩道があるが、夏場の雑草がひどい。南小から北伏古、国道の中央分離帯の草が伸びた状態。今後どう対策されるのか。

【町長】

他の会場でもその話は出ている。北海道はお金がないのかどうか分からないが、南2線も美生道路も道道。町としても予防していかなければならないと思うが、南2線は草というより、木が生えている状態で、なんとかしてもらいたいと思っている。課長からも説明を。

【環境土木課長】

新嵐山に行くところは道道なので、雑草の処理については引き続き要望していく。南小から北伏古は町道なので、年に2回路肩をやって、法面は1回やっている。伸びが早いので、注意していきたい。

【参加者】

競馬場通りから西中までのオンコの木が邪魔。子どもたちも邪魔だと思うし、農機具を付けて走るのにも邪魔。硬いので機械が壊れてしまう。切ってもらいたい。

【副町長】

2線から踏切の間。低くて広がっている。

【町長】

確かにある。

【環境土木課長】

以前、子どもたちが自転車に乗っていても、枝が接触することがあったので、剪定は見ながらやっているが、なかなか下から伐採はできないので、通行

に支障のない感じで対応はしていきたいと思う。

【参加者】

ガードレールの方がいいのではないかな。

【環境土木課長】

ご意見として承った。

【参加者】

①ついでに西中と競馬場通りの交差点の西中の方から行って右側も街路樹が邪魔なので切ってもらいたい。「とまれ」で止まって、右を見たときに見づらい。

【環境土木課長】

その見通しの悪い交差点については確認して回答する。

【町長】

交通上危ないものはしっかり考えなければならぬと思っている。

【参加者】

新嵐山が動き出しているのはすごくうれしいことだが、昨年度はまちなか再生が盛り上がっていた。記事になった時には小さい中でも意見を交わしたと思うが、まちなか再生のことが最近聞こえてこない。観光物産協会に関わらせてもらった関係でもなかなかその辺の話が今のところなくて、一時は盛り上がるが、振り返ると忘れられているものもあるし、町民はどのようにまちなか再生に関わっていかねばならないかを意識させるために、情報提供は常に必要ではないか。

【町長】

再生ビジョンを作ったまではいいが、その後の動きが鈍いというのは感じている。ビジョンの中では、いろいろな人がそれぞれの役割を果たしていこうという部分がある。そもそもモンベルショップの話もまちなか再生からスタートしている。ただ、駅前周辺で土地もなく

て、端的に言うとは断られている。そういうときに新嵐山が倒産になり、新嵐山の方という話になったのだが、公園でできる制度ができたため、そのようになっていった。今後の芽室公園での動きもまちなかの方々にはチャンスとして捉えてもらい、あそこに人が来るようになるので、まちなかにどのようにして持っていくかということをお互いに知恵を出して、話をさせてもらいたいし、まだ拠点を諦めているわけではない。よく言っているのは、まちなかに宿泊施設や温浴施設があるということや、起業で再生してくれる若い芽も出てきていないわけではないので、そういう支援も町として並行してやっていって、全体としていかにまちなかを盛り上げていくかというところに目を向けたい。まちなかについても具体的に表していかなければならないと思っている。協会の皆さんも含めて、ご協力いただきたい。

【参加者】

いろいろな先生が関わって町づくりのアドバイスをした。そこに呼んでいただくのはありがたいが、一時苦労させられてという表現が良いのか悪いのか分からないが、その時すごく時間を取られるが、急に収まって、あの時は何だったのかということが自分の中でも起きている。町民を巻き込むのはすごく大事なことだが、エネルギーを持って集まった人たちを冷めさせないようにケアしていくことも大事ではないか。同じようなことがあったときに、その人たちが二度と手を上げないということになりかねないと思う。

【町長】

承知した。

16時10分終了

【参加者ご意見フォームによる意見】

- 1 ② 2年連続で会場が上芽室でした、なぜ渋山で開催されないのですか。
- 2 ③ 役場の駐車場で入口から出てくる車があるので注意してほしい。
- 3 ④ 歩道が有るのに車道をウォーキング、ランニング

グする方がいるので、注意してほしい。

